

中

野島駅北側に位置する全6棟の大型マンション「新多摩川ハイム」。737世帯に約2千人が暮らす中央にある町会館や広場には地域住民が集う。そんな同マンションでは、住民によるボランティア団体がウェブサイト「ハイムのひろば」を運営。住民に向けた情報発信や、マンション内外の交流の場として広がりを見せている。



代表の山根さん(右)と西さん

全てを担つてゐる。

会の紹介ページ

サイトは元々個人の

手で作られていたが、存続していくために一昨年会を発足。ウェブサイ

トの自作経験があつた西敏さん(69)を中心に、

ほとんど初心者という50~60代の住民ら十数人が集まつた。「複数の人がどこからでも編集できる制作ソフトを使

用。住民だからこそできる手作りの内容を考えた」と西さん。メンバーは勉強会を重ね、昨年4月にサイトをリニューアルオープンさせた。

サイトにはマンション内のお知らせや19の同好会組織の紹介のほか、多摩区内のニュースや近隣の「お役立ち情報」、住民の芸術・文芸作品集、敷地内にある樹木の図鑑——と、多岐にわたる内容を掲載。講演会やフォトコンテストを取り組んできた。会の代表を務める山根昭郎さん(66)は人物風土記で紹介される。「住民の手作りでこれだけ充実したサイトを運営しているマンションは珍しいと思う。住民でない人にも見てもらえるオープンな『ひろば』にしていきたい」と思いを語る。

同サイトは<http://heimnihiroba.com/>で閲覧できる。

